

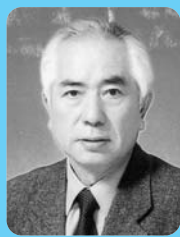
一般質問

中心に使用、公用車等の使用量以上の量の場合は奥州市内において利用できるものにした。」「民間が回収していたものを市が持つていく」という本末が逆になるようなことのない様に努めなければいけないと思います。

質問 胆江衛生協会の要望書の取り扱いについて伺います。

市長 一般廃棄物の収集業務につきましては、本来市が行うべき固有の業務であります。20年度以降は全的に統一した収集運搬体制になることから、し尿手数料の統一と合わせた見直しについては現在検討中です。

行政改革の現状と展望について 図書館時間延長や民間委託は？



おの ゆきのぶ
小野 幸議員

質問 平成19年1月に策定した行政大綱に示された行政改革の現状と展望について伺います。

市長 ご質問の民間経営感覚、企業家精神の行政への導入については、民間人の登用を進め、土地開発公社営業主幹として1名、総合政策部企画調整課知識集積型都市推進室内に推進監1名の計2名採用し民間感覚を大いに発揮して頂



市立水沢図書館

いているところです。

ニューパブリックマネージメントの推進は今年度事務事業評価の構築や、一人一改善運動など職員の意識改革に取り組んでおります。

市場化テストについては「奥州市モデル」とし、水道止水栓開閉業務を民間が落札し、平成20年から業務を行います。

行革効果額は、平成18年度5億1千8百万円、達成率109%。19年度は10億5百万円を予定し鋭意取り組んでおります。

質問 図書館業務の民間開放と開館時間の延長について伺います。

市長 市内には四つの図書館があり開館時間、休館日など異なっておりますが、合併協議に基き、平成20年度より四館統一を図り開館時間は午前9時30分から午後7時

までとします。管理運営体制は行革視点から指定管理者制度も選択肢のひとつとして、あり方の検討をおこないます。

教育委員長 当市図書館運営は4館で正職員10名、非正職員28名です。人口一人当たり貸し出し冊数は4・2冊で1冊当たり人件費は169円です。

総合水沢病院の 運営について



わたなべ あけみ
渡辺 明議員

質問 基本問題検討委員会を設置し検討中ですが不良債務の解消について伺います。

市長 不良債務24億6701万6千円の解消は、具体的な改革計画を立て、秋には国の認定を受け、21年度では改革ラインの姿が見えるよう確実な対策をとります。

但し3月中には起債の対象にならない15年度以前の9億1531万3千円は自力で返済することになるため、財源手当の見直しを付けます。

質問 精神病院は、特殊医療であるため、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」第19条の7の規定により県の設置が義務付けられているが、精神病床による医

療の提供についての考え方を伺います。

事業管理者 精神科については、約1億2千万円の赤字ですが、地域医療に一定の役割を果たしていることから、当面は一般病床併設型として継続し、一病棟体制を維持したいと考えています。

質問 病床利用率の向上策と遊休施設の活用方法等について伺います。

事業管理者 病床利用率は、今年度見込み71・1%で、利用稼働率を上げるには病床数を減らすか、患者数を増やすかです。今後も医師確保と経費の削減に努め、病院としては基本問題検討推進室での内容を進め今後の経営改善の方向について判断します。

遊休資産の活用については、介護施設は、現行の法律によると胆江医療圏内では、必要病床と許可病床が同数のため新たな設置は不可能と思われる。

米の生産原価保障を 交通死亡事故の対策



えんどう さとし
遠藤 敏議員

質問 市場経済に委ねられた生産現場は、急激な米価の下落に見舞われ、国の政策に従った農家ほど